

滑川市中教研究計画

会 長 宮 島 和 生
 会員数 57 名

1 本年度研究の基本方針

自ら考え主体的に判断し行動できる資質や能力と互いに認め合い励まし合う豊かな心を身に付け、たくましく生きる生徒の育成に努める。

- (1) 指導目標を明確にし、基礎的・基本的な内容が身に付くような指導計画の工夫・改善に努める。
- (2) 思考力・判断力・表現力等を育てるための教材とその提示の仕方を工夫し、学ぶ意欲を高める指導過程の改善に努める。
- (3) 真理を追究する喜びや、共に学び合う喜びが感得できる指導の工夫に努める。
- (4) 研究の成果を絶えず評価し、日常の教育実践に生かすとともに研究の継続と累積に努める。

2 部会構成と研究主題

番号	部会名	部員数	研 究 主 題
1	国 語	7 (重複2)	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語の資質・能力を育てる指導と評価はどうあればよいか。 —身に付けさせたい資質・能力を明確化した授業づくりと指導に生かす評価—
2	社 会	6 (重複2)	社会的な見方・考え方を働かせ、社会的事象を主体的に追究する生徒を育てるには、どのようにすればよいか。 —「課題を追及したり解決したりする活動」の工夫—
3	数 学	8 (重複2)	数学的に考える資質・能力を育成するために、数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、主体的・対話的で深い学びを実現する授業改善はどうあればよいか。
4	理 科	9 (重複1)	理科の見方・考え方を働かせ、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成するにはどうすればよいか。 —生徒自らが課題の解決に向けて、観察・実験の結果を分析・解釈し、探究の過程の見通しと振り返りを繰り返して課題に正対した考察・推論をすることを目指す指導の工夫—
5	音 楽	4 (重複2)	幅広い音楽活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成するにはどうすればよいか。 —授業改善のための「指導と評価の一体化」—
6	美 術	2 (重複1)	表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を育成するための学習活動はどうあればよいか。 —資質・能力を育成するための〔共通事項〕の指導の在り方—
7	保健体育	7 (重複1)	体育や保健の課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフの実現を目指そうとする生徒を育てるための学習指導はどうあればよいか。 —「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図り、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善—
8	技術・家庭 [共有]	5 (重複3)	「いきてはたらく力」につながる技術・家庭科の教育の推進 —生活や社会にいかすための問題解決的な学習の充実—
9	英 語	7 (重複1)	コミュニケーション能力を養うにはどのように指導したらよいか。 —聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して—
10	道 徳	5 (重複)	主として集団や社会との関わりに関する道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める道徳科の授業はどうあればよいか。 —「考え、議論する道徳」に向けた場の工夫—

番号	部会名	部員数	研 究 主 題
11	特別活動	5 (重複)	学級活動を通して身に付けるべき資質・能力を育成するための指導はどうあればよいか。 ―話し合い活動を通して合意形成や意思決定し、粘り強く実践できる生徒の育成を目指して―
12	特別支援 教 育	5 (重複)	特別な支援を必要とする生徒の能力や可能性を伸ばし、自立と社会参加を推進する指導はどうあればよいか。 ―生徒一人一人の実態に応じ、興味・関心や意欲を高める学習過程の工夫―
13	保 健	2	生涯にわたって主体的に心身の健康づくりに取り組み、健康で安全な生活を営む資質・能力を育てる健康教育はどのようにすればよいか。 ―生徒が心身の健康について理解を深め、主体的に健康な生活を実践するための指導の工夫―

3 年間計画の概要

月 日	曜	会 場	活 動 内 容
4 / 4	金	理 事 会 ・ 評 議 員 会	今年度の取組について
4 / 15	火	滑 川 中	総 会 令和 6 年度事業報告・決算報告 令和 7 年度事業計画・予算の決定等 第 1 回 研究部会 部会役員の選出、研究主題の決定 研究計画の作成 教科部長会 教育視察等について
5 / 21	水	滑 川 中	第 2 回 研究部会(教科、保健)主題に基づく研修
5 / 23	金	滑 川 中	第 2 回 研究部会(道、特、特支)主題に基づく研修
6 / 18	水	滑 川 中	第 3 回 研究部会(教科、保健、道、特、特支) 主題に基づく研修
9 / 17	水	早 月 中	第 4 回 研究部会(教科、保健)主題に基づく研修
9 / 19	金	早 月 中	第 4 回 研究部会(道、特、特支)主題に基づく研修
10 / 8	水	各 会 場	県中教研 研究大会(教科)
10 / 15	水	各 会 場	県中教研 研究大会(道徳、特活、特別支援)
11 / 14	金	滑 川 中	第 5 回 研究部会(教科、保健、道、特、特支) 研修のまとめ、来年度の研究内容、市中教研・県中教
2 月中			研究のまとめ 報告書配布
3 月中		理 事 会 ・ 評 議 員 会	次年度の運営について

4 留意事項

- (1) 会員の総意に基づき、自主的・民主的に運営を行う。
- (2) 協働的・実践的研修を推進する。
- (3) 授業実践を通して、会員相互の指導力向上に努める。